

年間授業計画様式

東京都立町田工科高等学校 令和5年度 国語 現代文B 年間授業計画

教科： 国語科 科目： 現代文B 単位数： 2単位
 対象学年組： 第3学年1組～5組)
 教科担当者： (1組：青木広恵[㊞]) (2組：松本恵理奈[㊞]) (3組：松本恵理奈[㊞]) (4組：青木広恵[㊞]) (5組：青木広恵[㊞])
 使用教科書： (東京書籍 新編現代文B)
 使用教材： (改訂版 ほんものの力がつく 現代語練習帳 ことのは)

	指導内容	現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	<p>評論「最初のペンギン」 タイトルに象徴される筆者の考えを手がかりにして、自分の生き方について考えさせる。</p>	<p>「神」と「人間」の対立図式を確認し、第一段の内容を整理させる。 生きるために、不確実性のもとで決断し、海の中に真っ先に飛び込む「最初のペンギン」の行動の意味を確認し、第二段の内容を整理させる。 第三段の内容を整理し、不確実性の中での決断の必要性と、感情の技術を磨く必要性を理解させる。 創造することは未知の世界にジャンプすることだという筆者の主張を捉え、第四段および文章全体の内容を整理させる。</p>	<p>[関・読]取り上げられている事柄に関心を持ち、印象に残った点を挙げている。〈プリント、Teams〉 [読]文章のおおまかな構成をつかんでいる。〈プリント、Teams〉アオ [読]ペンギンの行動と、人間の置かれた状況を重ね合わせて理解している。〈プリント、Teams〉ア [読]筆者の「創造」についての見解を正確に読み取り、本文の要点をつかんでいる。〈プリント、Teams〉ア [読・書・話]「決断」と「創造」について考えたことを分かりやすく説明している。〈発言の観察、プリント、Teams〉アエ</p>	5

	指導内容	現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	<p>中間考査</p> <p>評論「『真の価値』を求めて」論の展開に注意して読み、生物多様性の重要性和課題について理解を深めさせる。</p>	<p>生物多様性を大切にするうえで必要な発想について、具体的に読み取り、まとめさせる。</p> <p>生物多様性についての「質と量」の問題と、それに対する筆者の考えについて読み取り、まとめさせる。</p> <p>筆者の考える、生物多様性を大切にするために必要なことをまとめさせる。</p> <p>生物多様性を大切にするために必要なことや関連する資料から読み取って考えたことについて、話し合わせる。</p>	<p>[読] 生態系に対する筆者の考えを読み取っている。〈プリント, Teams〉アオ</p> <p>[読] 「南北問題」の要点を読み取っている。〈プリント, Teams〉アオ</p> <p>[読] 「量」と「質」の問題に対する筆者の考えを読み取っている。〈プリント, Teams〉アエオ</p> <p>[読・書] 本文の要旨を読み取り、まとめている。〈プリント, Teams〉アオ</p> <p>[関・話] 生物多様性問題について自分なりに関心を持って話し合っている。〈話し合いの観察〉ア</p>	5

	指導内容	現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	<p>小説「山月記」 登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考えさせる。</p>	<p>作者について、現代社会の、あるいは自分がおかれた状況と同じ点、違う点について考えさせる。 第一段に描かれた李徴の性格についてまとめさせる。 李徴がどのような経過をたどって虎になったのかをまとめさせる。 第三段を中心に、虎となった李徴の心情を考えさせる。 第四段・第五段を中心に、李徴の心情、生き方について考えさせる。 李徴は自らの詩をどのような理由から袁愔に伝え、袁愔はその作品をどのように感じたか、考えさせる。 第六段・第七段を中心に、李徴と袁愔の別れについて考えさせる。 これまでの学習を踏まえて、李徴が虎になった理由についてどう分析しているかを押さえ、主題を考えさせる。 李徴の生き方について話し合わせる。</p>	<p>[関] 作者の生きた時代背景やその中での作者の立場を踏まえて、現代と比較している。〈プリント、Teams〉イ [読] 李徴が虎になった経過を読み取っている。〈プリント、Teams〉イ [読] 虎になった理由を李徴がどう自己分析しているかを読み取っている。〈プリント、Teams〉イ [読] 詩をめぐる李徴と袁愔の思いを読み取っている。〈プリント、Teams〉イ [読] 作品の主題について考えている。〈プリント、Teams〉イ [話] 李徴の生き方について主体的に話し合っている。〈話し合いの観察〉イオ</p>	10

指導内容	現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>7月</p> <p>期末考査</p> <p>「文学的文章を読んで話し合う」 文学的文章を読んで考えたことを、根拠を示して伝えさせる。 相手の述べていることを的確に聞き取らせる。 さまざまな考え方を知ること、作品に対する理解を深めさせる。</p>	<p>教科書を読み、文学的文章について話し合うことの意義や話し合いの方法を確認させる。 グループごとに話し合うテーマを設定させる。 設定したテーマについて自分の考えや意見をワークシートに書き込ませる。 設定したテーマについて各自意見を述べさせる。 他のメンバーが意見を述べている際はワークシートにメモを取らせる。 グループの中で話し合った結果を整理させる。 グループで話し合った結果を踏まえて、再度自分の意見を文章にまとめさせる。</p>	<p>[書]テーマについて自分の考えや意見を書いている。〈プリント〉イエ [話]設定したテーマについて、ワークシートをもとに意見を述べている。〈話し合いの観察〉イエ [書]他のメンバーの意見をメモしている。〈プリント〉イエ [書]グループの中で話し合った結果を整理している。〈プリント〉イエ [書]話し合いの結果を踏まえて、自分の意見を文章にまとめている。〈プリント〉イエ</p>	5

	指導内容	現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月				

	指導内容	現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	<p>随想「カフェの開店準備」 日々の何気ない光景から広がっていく筆者の思考を手がかりにして、自分の日常を見つめ直させる。</p>	<p>第一・二段に書かれている「喫茶店の開店準備」をめぐっての筆者の考えを理解させる。 楽器の演奏に関する考察について理解させる。 「現在」（「過去」「未来」も含め）というものについての筆者の考えを理解し、そのことについて話し合わせる。 「行為の習慣化」ということについての筆者の考えをもとにして考えさせる。 「痕跡の残らない行為」に対する筆者の考えを理解し、そのことについてどう思うかを話し合わせる。</p>	<p>[読] 第一・二段での「喫茶店の開店準備」に対する筆者の考えを理解している。〈プリント, Teams〉イ [読] 楽器の演奏での「目的と行為の一致」を理解している。〈プリント, Teams〉イ [読] 「現在」に対する筆者の考えを理解している。〈プリント, Teams, 発言の観察〉イ [読] 「行為の習慣化」に対する筆者の考えを理解している。〈プリント, Teams, 話し合いの観察〉イ [読] 「痕跡の残らない行為」に対する筆者の考えを理解している。〈プリント, Teams〉イ</p>	11

指導内容	現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>詩「永訣の朝」 作品のもととなった体験を知り、その体験を作者はどう言語化しているかを考えながら味わわせる。</p> <p>10月</p> <p>中間考査</p>	<p>作者について、経歴や作者の文学傾向をを学ばせる。 表現やリズムに留意して、情景や心情を味わいながら音読させる。 作者独特の表現のある部分を抜き出し、表現の背景にあるものについて考えさせる。 妹の置かれた状態を表す比喻などから、作者がどんな変化を体験しているのかを考え、作者の目標としたものをまとめさせる。 妹の死を扱った他の作品と読み比べたり、妹の死を境として、その体験以前と以後の作品を読み比べたりさせる。</p>	<p>[知・関] 作者について関心を持ち、作品の背景について積極的に調べようとしている。 〈プリント、Teams〉イ [読] 作品の表現やリズムに留意して音読している。〈音読の観察〉オ [読] 特徴的な表現の持つ効果について理解している。〈発言の観察、プリント、Teams〉イオ [読] 作者の世界観や理想について読み取っている。〈プリント、Teams〉イ [知・関] 詩における作者の直接的な感情の吐露を理解している。〈プリント、Teams〉イオ</p>	9

	指導内容	現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	<p>評論「言葉は世界を切り分ける」 他言語と比較することで言葉の意味の在り方を理解し、言葉に関心を持って言語生活を豊かにさせる。</p>	<p>外国語でコミュニケーションを取ることの難しさについて、具体的に読み取り、まとめさせる。 言葉の「『面』としての意味」について、具体例を踏まえて読み取り、まとめさせる。 異なる言語が世界を異なる仕方で分節することについて、具体例を踏まえて読み取り、まとめさせる。 第四段が第一段でなされた問題提起に対する回答となっていることを読み取り、まとめさせる。 言葉の働きについて、筆者の主張を踏まえて、考えたことをまとめさせる。</p>	<p>[読] 第一段を読んで、言葉を「知っている」ことに対する筆者の主張を読み取っている。〈プリント、Teams〉アオ [読] 第二段を読んで、言葉の「使える知り方」についての筆者の主張を読み取っている。〈プリント、Teams〉アオ [読] 第三段を読んで、各言語の世界の分節の仕方を読み取っている。〈プリント、Teams〉アオ [読] 第四段を読んで、第一段との対応関係を読み取っている。〈プリント、Teams〉アオ [読・書] 本文の要旨を読み取り、それに対する自分の考えをまとめている。〈プリント、Teams〉アオ</p>	9

指導内容	現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>12月</p> <p>小説「ベル・エポック」 二人の交流を描いた小説を、「私」の視点から書かれていることに注意しながら読み、味わわせる。</p> <p>期末考査</p>	<p>みちかちゃんに起こった出来事を、時間の順に整理させる。 現在のみちかちゃんの誠さんに対する気持ちを理解させる。 「私」が「みちかちゃんは実家には帰らない」と思った根拠を読み取らせる。 「私」とみちかちゃんが別れるときのそれぞれの心情を読み取らせる。</p>	<p>[読]「みちかちゃん」に起こった出来事を、時間の順に整理している。〈プリント〉イオ [読]「私」がなぜ「みちかちゃんは実家には帰らない」と思ったのかを理解している。〈Teams〉イオ [読]「私」とみちかちゃんが別れる時のそれぞれの心情を読み取っている。〈Teams〉イオ</p>	7

指導内容	現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>「複数の観点を生かして理解を深める」 題材や資料について、理解したことを説明させる。 自分と異なる資料を読んだ他者と考えを比較して、自分の考えを深めさせる。 最初の自分の考えがどのように深まったかについて確認させる。</p> <p>学年末考査</p>	<p>ジグソー法の手順を理解させる。 題材となる文章とメイン課題を示し、共有させる。 メイン課題を意識しながら作品を読み、自分なりの意見を持たせる。 エキスパート活動で使用する資料を提示し、どの資料を担当するか割り振る。 資料ごとの班を作る。資料の観点から、メイン課題について各自考えたことをメモさせる。 メモを持ち寄って班で話し合い、メイン課題への考えをまとめ、全員がそれについて説明できるようにさせる。</p>	<p>[書] 作品を読み、与えられたメイン課題について考察して自分なりの意見を持っている。〈プリント〉エ [関・話] 話し合いの中で、メイン課題を考えるのに必要な資料や課題を決定している。〈話し合いの観察、プリント、Teams〉エ [読・書] 資料の観点からメイン課題について考察し、ワークシートに記入している。〈プリント認〉エ [話・書] 班で考察を深めながら、エキスパート活動をしている。〈話し合いの観察、プリント〉エ [書] ジグソー法の活動を踏まえ、当初の考えからの変化を考察している。〈プリント〉エ</p>	<p>9</p>

	指導内容	現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月				

	指導内容	現代文Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月				